

## 第1学年 生活科学習指導案

- 1 日 時 令和4年11月11日(金) 第5校時
- 2 場 所 1年生教室
- 3 学 年 第1学年 男子6名 女子5名 計11名
- 4 単元名 「あきとなかよし レッツゴーあそびパーティー！」
- 5 単元について

### ○児童観

本学級の児童は、1学期の前半は、休憩時間には外で積極的に遊ぶ等、生活面では活発であるが、授業になると、自分の考えや思いをまとめることができず、進んで発表することができる児童が少なかった。また、よい気付きがあっても自信がないため、自分の考えをはっきりと伝えることが難しいという実態があった。しかし、小学校生活に慣れていく過程で、少しずつではあるが課題の解決方法を考え、自分の意見を言うことができる児童が増えてきた。これまでの生活科の学習では、小学校中にはどんな教室があって、どんな先生がいるのだろうという疑問から、学校探検を行い、教室にある物やその使い方、そこにいる先生について調べた。その中で特に、来見小学校にしかない天体ドームに興味をもったため、星を見る会の会長さんにゲストティーチャーとして来ていただき、普段は見ることができない準備室や天体ドーム内にある物の使い方等を詳しく教えてもらった。天体望遠鏡を実際にのぞいてみたり、屋上から双眼鏡で遠く離れた海を見たりするという経験もした。

また、「なつとなかよし」の単元では、夏の遊びを考え、おもちゃ作り等を行い、2年生と一緒に遊ぶ活動を行った。夏にしかできない遊びに焦点を当てて、どんな遊びができるか考え、水鉄砲、つり、シャボン玉遊び等ができることに気付き、作り方を調べて作ってみた。しかし、水鉄砲の試し打ちの時は特に問題はなかったが、2年生と一緒に遊んでいる途中で、水を押し込む棒の先につけたスポンジが取れるというアクシデントが起こった。どうしてスポンジが取れてしまったのか理由を考えることで、水鉄砲を改良する方法を考えることができた。

しかし、児童同士の話し合いを仕組む中で、自分の考えを言うことができるようになってきた児童が増えてきたものの、自分の考えを友達に伝えられなかったり、話し合いが人任せになって参加しようとしなかったりする児童も依然としている。

そこで、新1年生(保育園児)に喜んでもらうという目標を達成するために、お互いの考えをしっかりと出し合い、身近にある物を使っておもちゃを作り、自然を生かした秋の遊びや友達と関わる中で、自分の生活をより豊かにし、相手意識をもって活動することができる児童へ育てていきたいと考えた。

本学級の児童に、アンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。

		よくあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない
		2学期			
1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつけています。	4	4	3	0
2	友達や地域の人が悩んでいたら助けてあげたいと思います。	5	3	2	1
3	「たぶんこうではないか」「こうすればできるのではないか」と考えています。	4	6	1	0
4	課題を解くために、進んで本を探したりインタビューをしたりしています。	0	4	4	3

5	調べる前に、どんな方法で調べるといいか考えています。	3	4	3	1
6	相手のことを考えたり、伝えたいことや伝え方を選んだりしています。	4	4	2	1
7	調べたことや考えたことなどを、図などにまとめています。	1	3	7	0
8	調べたことや友達の見解を比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	6	4	0	1
9	友達と話し合うなどして、新しい考えに気付くことができます。	3	6	2	0
10	自分の考えと理由を相手に分かりやすくなるように発表を工夫しています。	6	2	3	0
11	自分の考えを進んで伝えています。	5	5	1	0
12	みんなと話し合う時、みんなが納得のいく考えをつくらうとしています。	3	5	2	1
13	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」や「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	5	4	1	1
14	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	5	3	2	1
☆	自分の住んでいる地域のことが好きです。	8	2	0	1
課題発見力	自分の周りから不思議を見つけられています。	6	3	2	0
課題解決力	自分の考えをもって表現しています。	3	6	1	1
振り返り力	できたこと、分かったことを振り返っています。	5	2	4	0

アンケートの結果から、12「みんなと話し合う時、みんなが納得のいく考えをつくらうとしています。」・14「学習の振り返りをするときには、『もっと考えてみたいこと』『もっと調べてみたいこと』『もっと工夫してみたいこと』などを考えています。」の項目に否定的回答の児童が3人いる。この結果から、実際は自分の考えをもつことに課題があると考える。また、自分の考えを言語化することに抵抗感をもつ児童が多く、自分で振り返りをまとめて伝えることも十分ではない。なお、自ら探究していく姿勢は、2学期から本格的に育てていきたいと考えている。

4「課題を解くために、進んで本を探したりインタビューをしたりしています。」の項目で否定的な回答をしている児童が多いが、これは、入学してからの学習で、本で探したりインタビューをしたりする学習の機会がなかったからである。また、7の項目は、絵を用いて表現することは多かったが、図を用いることはほとんどなかったためだと考えられる。

振り返り力の結果に関しては、2学期から本格的に振り返りを発表したり書いたりする活動を始めたため、否定的な回答が多いが、現在、振り返りの活動を繰り返し行っているところである。

## ○単元観

### 第1学年 生活科の内容

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることなどに気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする

本単元は、生活科の内容(5)「季節の変化と生活」及び内容(6)「自然や物を使った遊び」を受けて設定した。内容構成の具体的な視点としては、「イ 身近な人々との接し方」「キ 身近な自然との触れ合い」「ク 時間と季節」「ケ 遊びの工夫」を位置づけている。本単元においては、身近な生活に関

わる見方・考え方を生かして学習活動を展開し、身近な自然、季節や行事に目を向け対象を捉え、自分なりに働きかけ、自分の生活を楽しくしようという思いや願いをもって活動することを通して、一人一人の資質・能力の育成を目指していく。また、活動を通して、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、友達と作ったおもちゃを紹介し合ったり、実際に遊んだりする中で、友達とのかかわりを深めたり広げたりすることもできると考える。

身近な自然としては、秋の季節に最もふさわしい木の実や落ち葉等の自然物を取り上げることで、児童が追究する意欲を高めることができると考える（課題発見力）。1学期に探検した松峰地区、通学路、家庭で落ち葉や木の実等の秋の宝物の収穫を促し、自分の諸感覚を働かせ、素材に深く関わりながら遊びや楽しみ方を発見し、生活を豊かにしていくことに繋げていく。

本単元では、来年度入学してくる新1年生（現保育園児）を秋祭りに招待したいという思いや願いを実現させるために、試行錯誤をさせる場面を意図的に設定する（課題解決力）。また、視点を決めて振り返りを行ったり、ルーブリック評価を取り入れたりしながら振り返りをしていくことを通して、新たな問題解決へと繋げることができようにする（振り返り力）。今後の単元「ふゆとなかよし」では、2学期の振り返りを想起させながら、よりよくなるように試行錯誤させたり、児童どうしで助言させたりすることで、新1年生を喜ばせるためにどんなことができるか考え、考えたことを踏まえて冬の遊びを工夫することへ繋げていきたい。

#### ○指導観

指導にあたっては、まず、校庭で身近な秋を見つける活動を通して季節の変化や秋に関心をもたせたい。さらに、自分の身の回りの秋見つけへと発展させ、「見つけた秋」の素材を「みつけたよコーナー」に持ち寄り、自分の見つけた秋を友達にも知らせ広げていくようにしたい。次に、1学期に探検に行った松峰地区にも行って、木の葉や木の実等を拾い、夏の頃と比べながら、諸感覚を働かせて季節の変化を十分に体感できるようにしたい。その後、児童の中から生まれてきた木の葉や木の実等を使った遊びを広げたり紹介したりすることで、「見つけた秋のもので遊びたい、つくりたい、飾りたい。」という思いをふくらませるようにしたい。自ら集めてきた秋の素材をもとに遊ぶものや飾るもの等をつくることで、さらに秋と関わる楽しさを味わうことができるようになることを考える。作る際には、友達と共に作ったり遊んだり助け合ったりさせることで、互いの思いや気付きを伝え合えるようにしたい。

続いて、友達が考えた遊びを一緒にしたり、工夫したことや気付いたことを伝え合ったりする「〇〇ランド」での活動を通して、友達と協力して自分たちの力で遊びを創ったり工夫したりする楽しさやおもしろさを実感させながら、自分や友達のアイデアや工夫等のよさに気付かせるようにしたい。「〇〇ランド」には、保育園児を招待することを想定している。2学期の初めに保育園児と遊ぶ機会をつくり、児童に遊びや遊び方を考えさせて実施してみる。その中で困ったことや失敗することもあると考えられる。その経験を生かし、保育園児に喜んでもらうためには何をしたらいいのかを考えさせ、ウェビングマップやKJ法等の思考ツールを使って、自分や自分たちの考えを整理させる活動も行っていく。練習及び準備の段階でも、「自分たちが楽しい。」だけでなく、「保育園児が喜んでくれるか。」という視点を常にもたせながら取り組ませたい。「〇〇ランド」の活動の本番では、保育園児が楽しく遊ぶことができるように、遊び方やルール等を分かりやすく説明させる活動を取り入れる。振り返りではもっと工夫したいことや頑張りたいこと等の視点を与え、自分の成長にも気付かせるようにしていきたい。

なかなか思考を深められない児童に対しては、以前の保育園児との交流写真から、失敗したり困ったりした経験を想起させ、保育園児とどんな活動をしていけばよいか具体的に考えさせていく。また、友達で作っているおもちゃや作品を紹介してもらったり、作り方を教えてもらったりするよう声をかける等、価値付けたり、意味付けたり、方向付けたりするといった適切な問い返しや支援を行っていきたい。

また、教科等横断的な学習を行うことを通して、より効果的に本単元で育成を目指す資質・能力を育ん

でいきたいと考えている。国語科「ききたいな ともだちのはなし」の単元では、自分が疑問に思っていることが質問できるようにしておく。図画工作科「あそぼうよ、パクパクさん」「ふわふわゴー」の題材では、動くおもちゃの作り方を理解し、おもちゃを作るための基本的な技法を習得させる。学活「お楽しみ会」「秋祭りについて」の題材では、友達と話し合う経験を通して、友達と上手にコミュニケーションを取りながら、問題を解決したり思考を広げたりする活動を仕組んでいきたいと考えている。

課題発見力	秋の季節に最もふさわしい木の実や落ち葉等の自然物を取り上げる。
課題解決力	ウェビングマップや KJ 法等の思考ツールを使って、自分や自分たちの考えを整理させる。
振り返り力	視点を決めて振り返りをさせたり、ルーブリック評価を取り入れたりする。

## 6 単元の目標

○秋らしさを見つけ、秋らしい遊びを工夫することを通して、変化する秋の特徴に気づき、友達と秋を楽しむながら、楽しい生活を送ることができる。

## 7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	自分のまわりから不思議を見つけている。
課題解決力	自分の考えをもって表現している。
振り返り力	できたこと、わかったことを振り返っている。

## 8 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校で付けた 資質・能力		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>春や夏の自然との様子の違いや、秋の特徴に気付くとともに、季節によって生活の様子が変わることやその面白さ、自然の不思議さに気付いている。</li> <li>みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然や自分の生活から秋の特徴を見つけ、身近な秋の自然を利用して遊びや生活に役立つのを作ろうとしている。</li> <li>自分たちが作ったものを、相手意識をもってよりよいものにしようと試行錯誤している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の変化に関心を持ち、それらを取り入れて自分の生活を楽しくしようとしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出したりしようとしている。</li> </ul>

## 9 単元におけるルーブリック（思考力、判断力、表現力等）

A	B	C
あきのおそびをたのしんでもらうためには、どんなかつどうをしたらよいか、ともだちとはなしあつてかんがえることができた。	あきのおそびをたのしんでもらうためには、どんなかつどうをしたらよいか、かんがえることができた。	あきのおそびをたのしんでもらうためのかつどうをおもいつくことができない。

10 主な学習活動と評価規準（全16時間）

	主な学習活動	評価規準
<p>1 秋をみつけよう ⑤</p>	<p>諸感覚を使って秋の動植物を観察したり、葉や木々の実を集めたりすることを通して、校庭や学校の周りの自然の様子が変わっていることに気付くことができる。</p> <p>○学校の校庭で秋見つけをする。②</p> <p>○学校の周りで、秋見つけをする。②</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">家庭などで、葉や木の実等の、秋の自然に気付く。（継続活動）</p> <p>○見つけた秋を絵や文でかき表し、季節の変化について話し合う。①</p>	<p>【主】秋の植物や生き物に関心を持ち、校庭の様子の変化を探そうとしている。 （行動観察・発言）</p> <p>【知】校庭の植物や生き物の様子が変化していることから、季節が変わったことや自然の不思議さや面白さに気付いている。（ワークシート・発言）</p> <p>【思】見つけた秋を絵や文にかき表している。（行動観察・ワークシート）</p>
<p>2 見つけた秋で作ったり遊んだり飾ったりしよう ⑤</p>	<p>自分たちで集めた木の葉や木の実等の秋の自然を利用して、工夫しておもちゃをつくり、秋の自然を利用して遊ぶことのおもしろさや自然の不思議さに気付くことができる。</p> <p>○自分で見つけ集めた秋のもので遊ぶものを使って、作ってみたいものや遊んでみたいことを話し合う。①</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">校庭等で、葉や木の実等の、秋の自然物を集める。（継続活動）</p> <p>○自分で見つけ集めた秋のもので遊ぶものを作ったり、それを使って遊んだりする。②</p> <p>○クラスの友達と「あそびパーティー」で遊ぶ準備をする。②</p>	<p>【主】季節による変化や季節の特徴について発見したことや感じたことを友達に伝えようとしている。 （行動観察）</p> <p>【思】比べたり、試したり、見立てたりしながら、秋の自然物を使って遊ぶ物や生活に役立つ物を工夫して作っている。（行動観察・作品）</p> <p>【主】クラスの友達と楽しく遊べるように準備しようとしている（行動観察）</p>

3 あそび パーティー で遊ぼう ⑥	つくったおもちゃで友達に遊んでもらったり、友達と競争したりする中で、もっと楽しく遊べるように、つくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむことができる	
	○クラスの友達と「あそびパーティー」で遊ぶ。 ②  ○保育園児を招待するために「あそびパーティー」で遊ぶ準備をする。①（本時）  ○保育園児を招待し、「あそびパーティー」で遊ぶ。 ②  ○「あそびパーティー」を振り返る。 ①	【技】 みんなで楽しく遊ぶ際、道具や用具の準備や片付け、掃除、整理整頓をしている。（行動観察・発言）  【思】 保育園児が楽しく遊べるように、繰り返し試しながら、ルールを変えたり、遊ぶものを改良したりしている。（行動観察・ワークシート）  【主】 保育園児と進んでかかわろうとしている。（行動観察）  【知】 季節の変化や自分や友達のがんばりやよさ、自分の成長に気付いている。（ワークシート・発言）

11 本時の学習

(1) 本時の目標

新1年生（保育園児）が楽しく遊べるように、繰り返し試しながら、ルールを変えたり、遊ぶものを改良したりすることができる。

(2) 本時の評価規準

新1年生（保育園児）が楽しく遊べるように、繰り返し試しながら、ルールを変えたり、遊ぶものを改良したりしている。

(3) 準備物

〔指導者〕 画用紙・模造紙・マジック・タブレット・ワークシート

〔児童〕 筆箱・タブレット

(4) 学習の展開 (13/16 時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
1 本時の活動の課題を確認する。		
めろんぐみさんによるこんでもらうために、あそびパーティーでどんなくふうをしたらよいだらう。		

<p>2 どんなことに気が付いたら良 いか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くるみ保育所の園児（めろんぐみ）を招待してあそびパーティーをすることを想起させる。</li> <li>・自分たちが遊んだときのことを想起させるために、タブレットを準備しておく。（写真）</li> <li>・園児と遊んだ経験を想起させ、困ったことや失敗したことを出し合い、解決方法を探る。</li> <li>・園児の興味をひくために、おもちゃを置くだけではなく何か良い方法がないか問いかける。</li> </ul>	<p>○新1年生（保育園児）が楽しく遊べるように、繰り返し試しながら、ルールを変えたり、遊ぶものを改良したりしている。 (行動観察・ワークシート)</p>
<p>3 グループごとに準備をする。 (自分の興味関心で分かれる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が少ないので、看板やルール説明に使える画用紙やマジックを準備しておく。</li> <li>・活動がスムーズに進まないグループがあったら、役割や分担を一緒になって考える。</li> <li>・どの児童にも、自分の役割があるようにする。</li> <li>・はさみ等を使用するグループがあったら、安全な使い方を確認する。</li> </ul>	
<p>4 本時の活動を振り返り、次の活動内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あそびパーティーまで少し日にちがあるので、休憩時間にプレゼント作りをしていいことを伝える。</li> </ul>	

12 板書計画

11/11 あきとなかよし

か めろんぐみさんによるこんでもらうために、あそびパーティーでどんなくふうをしたらよいだろう。

◇工夫や考えを書く。

ルーブリック

ま めろんぐみさんによるこんでもらうために ○○なくふうをしたらよい。